

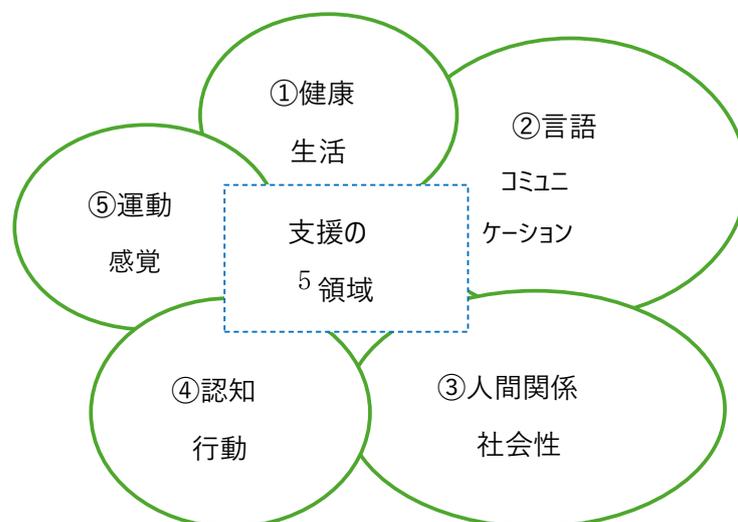
日向の杜活動プログラム【5領域 発達支援】

日向の杜では発達の5領域の内容に対応した支援を行っています。

- ①健康・生活…健康状態の把握、食事内容等による栄養状態を把握、生活のリズム れんらくちょう等を通して確認します。
- ②言語・コミュニケーション…人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得
- ③人間関係・社会性…他者との関わり形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団参加
- ④認知・行動…認知の発達と行動の習得
- ⑤運動・感覚…姿勢と運動、動作の向上、保有する感覚の統合的な活用

未就学のお子さん（こぐまクラス）、小学生のお子さん（おひさまクラス）にとって「あそび」とは、五感に刺激を受けることで脳の発達を促し、「あそび」を通して様々な人たちと関わる中で、社会性を広げていく心身の成長に欠かすことのできないものです。

日向の杜では保育士・児童指導員で連携し、発達支援の専門性を活かした様々な視点からアプローチすることで、子どもたちの気づきや発達を支援しています。年間の「ねらい」に即した活動プログラム（週案・月案）を毎日通園することでわかる子どもたちの状況や季節に合わせて立案し実施しています。



集団活動プロ

グラム (例)

①生活・健康②言語・コミュニケーション③人間関係・社会性④認知・行動⑤運動・感覚

*「ねらい」の()内は主に係る領域

あそび	ねらい	遊び方・配慮事項
絵本 (読み聞かせ)	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じる (①④) ・さまざまな言葉にふれる (②) ・コミュニケーションを楽しむ (③) ・視覚や感覚から刺激を受ける (④⑤) 	その時期の季節や行事を知ることができるような絵本や子どもの好きなものや興味のあるものから選ぶ。視覚的に捉えにくい子どもには感触を感じられるものや色のはっきりした絵本を選ぶ。また繰り返しの言葉やリズム感を楽しめるように声に抑揚をつける。
ふれあいあそび	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンシップを通じて子どもが安心感を持つ (②③) ・コミュニケーションを通じて他人への親しみをもち (②③) ・体の動かし方や楽しさを知る (④⑤) ・保護者へ触れ合う方法を知らせる。(①②③④) 	手あそび歌やわらべ歌で遊ぶときは、子どもとふれあいながら、目線を合わせて繰り返しゆっくり歌う。歌や動作が速いと子どもが混乱して楽しめず、飽きてしまうことがあるため、ゆっくりはっきりとした動きを見説。子どもの様子を見ながらスピードを調整する。スキンシップを取り入れながら力加減に配慮体の様々な部分を動かす。保護者支援の一環で、触れ合い方、触れ合うことでどのような効果があるかを丁寧に指導する。
創作活動	<ul style="list-style-type: none"> ・季節を感じる (①④) ・様々な感触に触れる (④⑤) ・手先を動かす (④⑤) ・何かを作る楽しさを感じる (③) ・達成感を感じる (③) ・自分の意思を伝える (②③) 	季節に合った、創作活動をする中で、子どもたちに季節を知らせる自然な時間にする。 また、親子で取り組むことで、一緒に同じものを作ったり、見たり、共有する時間を積み重ねられるようにする。 子どもたちの自然な仕上がりを最終目的にして、ステキさを保育者が魅せていく。
あるこう 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす(①④⑤) ・四季を感じながら歩く(④⑤) ・友だちや保育者と手をつないで歩く(②③) ・目的地がわかる(③④) ・交通のルールがわかる(③④) ・地域の人や環境に触れ合う (②③) 	行く前にペアが誰か、行き先がどこかを必ず伝える。 手をつないで目的地まで歩くことを知らせる。 四季折々を大人が子どもに伝えながら歩く。交通ルールも知らせながら、危険箇所は大人が主導権をもつ。
揺れあそび 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいを発見し、大人や友だちと共感しながら、揺れを体で感じる(①③④⑤) ・心身共にリラックスする(①②④⑤) ・体幹を意識しバランスを保つことできる (④⑤) ・順番を待つ(③④) 	揺れが苦手かそうでないかを始めに確かめながら始め、弱～強にしていく。 順番を伝え、途中で変えないようにする。 友だちが終わるまで待てるように歌を歌ったり共感したりする。
はしろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールがわかり、達成感満足感を味わう。(②③④⑤) ・体を動かして、発散し、爽快感を味わう。(①④⑤) ・順番を待つ、友だちを応援する。(②③) 	順番を伝えてから始める。 スタートとゴールをあらかじめ伝え、見本を見せてから始める 順番が待てるようにテンポよく進める 友だちを応援できるように保育者が盛り上げる
水あそび 	<ul style="list-style-type: none"> ・水を感じる (楽しむ) (④⑤) ・心身共にリラックスする(①②④⑤) ・体を楽しみながらたくさん動かす (②③④⑤) ・友だちと同じあそびを通して、かかわる楽しさを感じ、広げる。(②③④) 	着替えをするところから、自分でできるところは自分でするよう見守りながら、難しいところは手伝ってが言える関係づくりをしていく 水あそび中は、溺れたり、転倒したりのないよう大人が最大数で見守る 水あそびに大人も一緒になって入り見本となる

 <p>砂あそび</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・砂を感じる（楽しむ）（④⑤） ・友だちと協力して砂であそぶ楽しさを味わう（②③④⑤） ・外気に触れながら手指を使って砂あそびを楽しむ（①③④⑤） ・手の動きや指先の感覚、視覚を使って集中して遊び、できた達成感や十分な満足感を味わう（③④⑤） 	<p>砂での感触を味わえるように、必ず安全性を確認する。道具の貸し借りを保育者が仲立ちしながら、子どもの思いをよく見て、汲み取りながら行う。大人も一緒になって遊びこむ。</p>
 <p>新聞紙あそび</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な感触を感じ、手先の動きを高める（④⑤） ・遊びに満足が行くようにダイナミックにあそびを展開する。（②③④⑤） ・友達と一緒に作る楽しさを感じる（②③） 	<p>新聞紙を破ることで、手先の動きを高めることができますので、大人が見せて破るや握る、を促していきます。ダイナミックにあそびを展開できるように、保育者同士で話し合いをしながら、楽しいを広げる。新聞紙を最後袋に入れて、片づけを一緒に行う。</p>
 <p>巧技台あそび</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じあそびを共有し、他者への関心や信頼関係を深める（②③） ・手足の動きや指先の感覚、体をこなして集中して遊び、できた達成感や十分な満足感を味わう（③④⑤） ・順番を待つ（③④） 	<p>順番をあらかじめ伝え、子どもたちに待つことを知らせ、楽しいを期待を持たせ、達成感を味わうようにする。巧技台に危険個所がないかを必ず見て、大人が必ず見守るよう、配置する。</p>